

Bridolly

text and
paintings by
Kenji Shimizu

vol. 3 月刊ブリドリ



Carp Riding F6



第三回

現代花鳥図 志水堅二作品展
5月1日～7日・岡山天満屋5美術ギャラリー

試行錯誤

描かなくてはいけない作品が溜まっている。
乾き待ちの間に他の絵を描く、なんてことが出来ればもう少し効率よく進むのだろう。
そう、僕は複数作品の同時進行が苦手なのだ。
エスキースをして、パネルの縦横、サイズ等を決めて下地を塗るところから始まって
描画、サインを入れるまで一気にやる。性格上、工程通りの作業というものが嫌いで
毎回実験や挑戦を試みてしまうのも理由のひとつ。効率は悪いがいろいろ試すと
一点描き終わるたび何か一つ得るものがあるのだ。三点描けば三つ成果がある。
これを効率重視で三点同時進行すれば成果はひとつだけ。非常にもったいない。
というのが僕の持論である。
が、まあちょっと言い訳でもある、正直なところ効率よく描けるならそうしたい。
とにかく、あーでもないこーでもないで戦っているとそうポンポン何点も描けるもんじゃ
ないのだ。と、思っていたのだが、つい先日、中島千波先生のご自宅にお邪魔させ
ていただく機会があり、アトリエを拝見させていただいたのだが、壁には制作中の大
作が数点、床も描きかけの小品と膨大なスケッチ資料で埋め尽くされていた。
「さすが先生、同時進行で迷いなくどんどん描いている感じだ。試行錯誤とかなん
だろうな……」
と思ったのだが、よく見ると納得いかず画面を洗った作品が数点あった。
「た、戦ってる……」
戦いながらもあれだけの点数を描いているのだ。
脱帽である……

Shimizu 